

日本めまい平衡医学会認定 教育Webinar EquiLAB (Equilibrium Learning & Broadcasting)

第1回「さらば、めまいアレルギー！めまい診療のはじめの一步」

対象 医療関係者どなたでも

参加費 無料(先着500名)

*テーマおよび日程は変更になる場合がございます

お申込みはこちら

URL <https://forms.gle/Vrfq6kmfLjyBKQN88>

定員に達しましたら締め切らせていただきます



日時

2026.7.30(木) 19:00~20:30

今回はめまいに対する苦手意識(アレルギー)を払拭することを最大の目的としています。大野先生、笹野先生からは、めまい診療に興味を持った原体験をはじめ、市中病院と大学病院それぞれのリアルな外来フロー(問診やフレンツェルを用いた基本アプローチ)やケーススタディについて講演してもらいます(各25~30分)。その後、ディスカッション形式でQ&Aを行う構成です。ディスカッションの大きなテーマは「若手をめまいに興味を持ってもらうには何が必要か」としています。

登壇者

おおの たかし



大野 峻 先生 大阪府済生会吹田病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 科長

私が初めてめまいに夢中になったのは初期臨床研修で耳鼻咽喉科をローテートした時でした。当時の出来事は今でも鮮明に思い出されるため、とてもインパクトのあった経験なのだと思います。その後、めまい診療がたくて耳鼻咽喉科医になりました。今でもめまいの希少な症例を経験した時、理屈と臨床所見が合致した時などは、鳥肌が立ち、「やっぱりめまいが好き！」となります。自分の周りでは、めまいが好きな若い先生は少ないように感じています。お話す私の経験が少しでもめまいアレルギーを軽減したり、めまいが好きになるきっかけとなれば幸いです。

ささの よしゆき



笹野 恭之 先生 聖マリアンナ医科大学 耳鼻咽喉科学

医師12年目、専門は耳手術とめまい平衡です。耳鼻咽喉科3年目より大学院でめまい研究を開始し、めまい外来を担当、海外留学を経て現在は外来歴7年目となりました。当初は人工聴覚器への関心から耳鼻咽喉科医になりましたが、診療を重ねる中で、めまいはかなり論理的に評価・判断できる領域であり、大きな強みとなる分野だと実感しています。このWebinarを通じてかつて私自身が抱いていた「とっつきにくさ」を少しでも和らげ、めまい診療に関心を持つ方が増える契機となれば幸いです。

Faculty



こもり まなぶ

小森 学 先生

聖マリアンナ医科大学
耳鼻咽喉科学 教授

Program

内容	発表者	時間
オープニング	堀井理事長	5分
司会進行	小森先生	
「タイトル1」	大野先生	(25分-30分)
「タイトル2」	笹野先生	(25分-30分)
Q&A、ディスカッション、クロージング	—	20分